

学校だより青南

5月号

令和4年4月28日

港区立青南小学校

校長 野口 直樹



未来を見つめて

校長 野口 直樹

青南小学校の校舎の周りには、たくさんのお花が咲いています。これは、青山ガーデニングクラブの皆様がボランティア活動として植栽の管理をしてくださっているからです。また、敷地内にも様々な木々が枝を伸ばし、さながら小さな森の様相を呈しています。

都会の真ん中である青山の地ですが、この地域は緑が豊かです。学校から表参道を西に向かっていくと、そこには、明治神宮、代々木公園の森があります。この森は、天然自然のものではなく、人工的に作られた森だということを聞きました。今の様子からは想像しにくいのですが、その辺り(原宿駅周辺)は、荒涼とした木々の生えていない場所だったそうです。そこに、明治神宮を造営する際に、神宮の森の植栽計画も立てられました。このうち、神宮の内苑の計画を立てたのは、東大の本多静六さんたちでした。本多さんたちは、150年後の森の様子を考え計画を立てました。植樹していく木々が、50年、100年、150年後どのように成長し、森がどのように変化していくのかを見通し計画したのです。長い年月が経つ間には、倒木や、淘汰され枯れていく木、倒れた木から新たに育っていく木が出現するという森の自然のサイクルについても考え森をデザインしました。今や、ずっと昔からそこにあった神秘的な森のように感じているのは、そういった先人の先を見た計画があったからだと感じました。

私たち教師も本多さんたちのように、子どもたちの先を見て教育を行っていかなくてはなりません。そして、小学校を卒業する12歳の春までにその後の中学校、社会へと続く学びの基礎を身に付けさせることが求められています。

子どもたち一人一人は、様々な個性をもち、その成長速度も人それぞれです。そのことを心にとめ、今、目の前の子どもたちの様子をしっかりと見つめ、子どもの成長に合わせてながら、未来に目をやり、助言・指導をしていきたいと考えております。

さて、5月28日(土)には、運動会を実施いたします。昨年度同様、分散での開催になりますが、子どもたちと学校職員が、当日まで積み上げてきた成果をご覧いただければと考えております。詳細は、後日配信されるプリントをご覧ください。今年度は、運動会前日に全校で、各学年の表現運動を見合うようにします。また、6年生が運動会の係として、運動会運営にかかわるようにしますので、陰日向に活躍する6年生の姿もご覧ください。

5月の生活目標

【きまりを守って生活しよう】

生活指導部

学校生活には、きまりがあります。みんながより良く生活できるようにするためです。名札や校帽を着用する、廊下は右側を歩く、遊びのきまり、など、生活や学習について色々なきまりがあります。みんなが楽しく、安全に活動するために、きまりは必要なものです。

きまりの意義を考えてもらいながら指導をします。この生活目標を達成させるために、毎週、具体的な目標を立てて、全校で取り組んでいきます。

この機会にご家庭でも、きまりについて話題にしてみてください。

主体的に学ぶ児童を育むために

研究主任

昨年度に引き続き、本年度も国語科の授業を重点として研究に取り組むことになりました。研究主題「自分の考えをもち、豊かに表現する児童の育成 ～児童の主体的な学びを促す課題設定と言語活動～」に基づき、各学年と専科、計7回の研究授業を行います。

それぞれの分科会で決めた「目指す児童像」に近付けるように、また、児童が主体的に学びに取り組めるように、課題設定と言語活動について、重点的に研究していきます。昨年度の研究の成果を生かしながら、「より自分の考えがもてるようにするためには」「より豊かに表現するためには」という視点も大切にしていきたいと思えます。

消防写生会

図工専科

4月19日、晴天に恵まれた中、校庭に2台の消防車と消防署の方々が来て下さいました。間近で見る消防車は大きく迫力があります。子どもたちは思い思いの場所にシートを広げ、1・2年生はクレパスで、3年生は油性マジックで四つ切画用紙に描いていきます。「大きいなあ」「描くの難しそうだなあ」、描き始めは緊張します。しかし、描き進めていくと、細部までよく見ていたり、クレパスをしっかりと塗り込んでいたり、それぞれに工夫が見られました。短い時間でしたが、みな集中して真剣に取り組んでいました。今後、教室で仕上げをします。完成を楽しみにお待ちください。

